

2016 ティータイム通信

8

発行/
建築許可(般-27)16806号
(財)住宅保証機構登録店
株式会社みのりホーム
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-976-0047
[HP] [みのりホーム](#) [検索]
[E-mail] minor@minor-group.com

一級建築士事務所 第3021号
日本増改築産業協会 正会員
株式会社 栗田工務店
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-993-7555
[HP] [栗田工務店](#) [検索]
[E-mail] kurita39@lilac.ocn.ne.jp



無添加住宅®の構造見学会を行います!!

8/6(土)、7(日)
10:00~17:00

現在、松山市高井町「ていれぎ」分譲地内に、建築中の無添加住宅。完成まであと少しになりました。完成すればモデルハウスとしてオープンしますが、その前に・・・なんと、完成前の見学会を行います！完成すれば見ることの出来ないこだわりの部分になりますので、この機会にお見せいたします。構造を見て、完成時のイメージをつくってください。現在マイホームを計画されている方、または、これからマイホームをお考えの方必見です。構造が見れる機会は少ないので、是非この機会にお越し下さい。



みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つちょっとした小ネタをご紹介します

● 第52弾 「この時期要注意、食中毒！」

意外にも年中起こる可能性のある食中毒。一番起こりやすい夏場は、いつも以上に注意しましょう。厚生労働省の出しているデータによると、昨年の食中毒患者が一番多かったのは、9月ですが、年間の食中毒患者数は7月が10%、8月が11%、9月が12%。年間の30%を占める夏の間は特に注意が必要です。まず初めに、食中毒予防の三原則は、食中毒の菌を「付けないこと、増やさないこと、なくすこと」です。原因の食材では、魚介類や肉類・きのこ類が多いです。



対応としては

- 買いものを終えたらすぐに冷蔵庫などで適切な保存をする。
- 帰宅時・食事前・調理前の手洗いを徹底する。
- 生ものを扱ったら必ず手を洗い、調理器具もその都度洗う。
- カット野菜も洗うと安心です。
- 冷凍品を解凍する場合には、常温解凍ではなく、冷蔵庫内や電子レンジで解凍をする。
- 食品は加熱調理を心がける。

お料理を出す時にも一点注意！

それは食卓の雑菌。せっかく安心な食事を出しても、肝心のテーブルが汚れては、台無し…。除菌スプレーやお酢を薄めた溶液でテーブルを拭きましょう。暑さの厳しい夏場ですが、しっかりと食中毒を予防して健康一番で過ごしたいものですね。

「みのり商会に新しい仲間が増えました！」

みなさまはじめまして。景浦 悠平と申します！
貸貸管理、リフォーム工事を担当させて頂いています。前職では、リフォーム現場の監督をしていました。その経験を活かして、みなさまのお役にたてるように精一杯がんばります。まだまだ未熟者ではありますが、小さなことからコツコツと、日々精進して参ります！みなさまとお会いできることを心よりお待ちしております。今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。みなさまの元にステキな笑顔をお届けいたします(笑)



知っ得! 不動産 不動産売買契約について

売主と買主との契約は、自己責任で締結することが原則になります。消費者が一方向的に不利益を被る契約とならないよう一定の法整備がされていますが、すべてをカバーできているわけではありませんので、最終的には自己責任でしっかりと契約内容を確認した上で契約に臨むことが重要です。契約に定めがない事項については、民法その他の関係法令に従い、協議の上決

定することになりますので、重要な契約条件が不明確であると契約後のトラブルにつながります。また、不動産会社が売主の場合には、買主に不利益な契約が結ばれることのないよう、宅地建物取引業法により、契約内容に一定の制限が設けられています。これによって不動産取引の専門家である不動産会社と直接契約を締結することとなる買主を保護しています。

やわらぎ便り

— お局様 —

吾輩は猫である。(注:メス)名前は華。14年前近所の花屋さんからもらわれてきたので『はな』と名付けられた。単純・・・私の生活は『いくし』と外を行ったり来たり。5年前に『いくし』は引っ越しをしたけれど、帰る家を間違えた事などなかった。まっすぐ戻ってくる。元の古巣、今の『いくし村』にたまに連れて行かれるが、どうも慣れず一目散に脱出する。好きなものは鯉節。職員が時々差し入れてくれるので、この時ばかりはいつもより思いっきり鳴いておねだりしてみたりする。これまでのグループホームでの生活はいろいろあった。猫嫌いのお年寄りには杖で突かれたり、邪険に扱われたり・・・ちょっと部屋やベッドにお邪魔するとすぐに追い出され・・・怒られる。でもめげない!!猫好きなお年寄りもいるから。たまに膝の上で抱かれたり、おかずをこっそりくれたりする。ありがたい。夜

グループホームいくし

相原 加代

間、外の出入りをすると夜勤で忙しい職員の手をわずらわせる。「も～、また出るの～?」と言われながら戸を開けてくれる。私も歳をとった・・・お腹もタルタル、声も時々ガラガラ。最近は洗濯物干し場のテラスで、ゴロゴロするのが日課。ツバメを追いかけたりするのはもう無理～。トカゲやセミを捕まえてきて、職員を「ギャー!!」と言わせてた頃が懐かしい。穏やかに老後を送りたいと思う今日この頃。



ホームページ <http://www.yawaragi-ehime.com/>

現場からの便り

仕上げ工事

2月から着工させていただいた建物がようやく完成です。振り返ってみますと、お施主様とお会いしてからちょうど5年になります。これまで土地探しや完成見学会、モデルハウスに何度もお越しいただき打ち合わせを重ねてきました。時間をかけた分、良い建物に仕上げることができました。今後とも末長くお付き合いをよろしくお願いいたします。



～祝！上棟～

高井町にて建築中のN様邸が無事上棟しました。梅雨時期ということもあり、天気予報は雨でしたが前日から快晴が続き、当日も朝から気持ちよく晴れ、絶好の上棟日和となりました。完成を待ち遠しくされているN様のご期待に応えられるように職人さんと力を合わせて建物を作っていきます。



無添加大好き! 私の住まい

環境との調和! 深緑を活かした無添加住宅



「この土地は超人気物件で、倍率は約10倍だったんです!なので、半ばあきらめていたんですよ」と奥様。ややシックハウス症候群の予備軍の症状をお持ちだったとのことで、徹底して住宅会社を調べた結果、無添加住宅にたどり着いたそうです。「いろんなところにこだわったので、施工開始まで1年くらいかかりました(笑)」とご主人様が言われます。設計コンセプトは、「深緑との調和」です。家のどこにいても緑が感じられる家を目指したと言われる通り、リビング・キッチン・ダイニングのどこからも美しい木々が目に飛び込んで来ます。圧巻なのは、リビングの吹き抜け部分です。部屋上部の半分は

どのスペースが吹き抜けなのですが、二階のフリースペースからも眺められる大きなFIX窓を設置。「このおかげで、リビングがいつも明るいですよ」と大満足のご様子。ダイニングの囲炉裏テーブルはご主人様のこだわり。「夏はウッドデッキで、冬はこのテーブルで、バーベキューや焼き肉を楽しむのが週末ライフになってます」とニッコリ。ご近所から「ペンションみたいでステキ!」と言われるのも納得です。「実は、この土地の抽選日前日に無添加住宅を見てたのがよかったんだよ!絶対に!っていう主人と話してるんです」と言われる奥様の向こうに見える木々たちも、喜んでいるように見えました。

栗田工務店 ビフォー・アフター 安心・安全・快適リフォーム!



施工例 松山市 N様邸



私共と、N様の出会いは一通のメールからでした。その内容は、「プレハブのリフォーム経験はありますか?」というものでした。以前そのような経験があったので「はい」という返事を返したのがきっかけとなり、N様とのやり取りが始まりました。いろいろな会話・打合せの中で「自分達家族と一緒に工事をしながらの家造り」という希望が強いようで、最初は私共も半信半疑でした。ですが実際に工事が始まってみると、平日は奥様、土日はご夫婦で床貼・壁の漆喰塗りを行い、そして完成に至りました。とかく私達、建築業者は「お客様と一緒に家造り」と声高らかにうたってはいるものの、工程の関係や保証等の関係から、今回の工事のような事は、受け入れる所が少ないでしょう。しかし私は、今回の工事を通じて「本当の家造りとは何か」ということを、N様ご夫婦に教えてもらったように思います。

●お問合せは
株式会社 栗田工務店
☎ 0120-70-1516



担当: 恩地



もう一度、家の基本を見つめよう-24 「大切な“屋根”の役割」4

無添加住宅のオリジナル屋根“クールーフ”。これは、偶然ともいうべき、あるきっかけから出来上がったのです。今回はそのお話です。それは1999年のある夏の日でした。大工さんが妙なことを言うのです。「石の屋根って涼しいんやなあ。屋根裏部屋のプラスターボード張りが、真っ昼間でもできるで〜」。

えっ、そんな馬鹿な!石は熱伝導率が高く、屋根裏部屋なんてめっちゃ暑いはずですよ。そこで、私は急いで屋根に上り、石屋根を一枚外して、下地の野地板を手で触ってみました。すると、確かに冷たいのです。“何が起きたんや?”私はさっぱり分かりませんでしたので、翌年に(財)日本建築総合試験場で実験をすることにしました。始めに他社のスレート瓦と石屋根に夏と同じ光を当てて調べてみましたが、変化がなく、落胆しました。すると研究員の方が「夏の晴れた日は、必ず風速2~3メートルの風が吹くので一度試してみましょ」と言うので、その実験をしました。すると、大きな温度差が出たのです!ポイントは“風”でした。施工する時に生じる段差が風を取り込み、屋根裏部屋を快適な温度にしていたのです。偶然でもあるし、何より私の大好きな“無料”のシステムです。懸命な読者の皆様、もう分かりましたよね!“クール”な“ルーフ”で、クールーフ。これも私の大好きなダジャレです。おあとがよろしいようで!